



# 清水南高中等部だより

## 平成30年度全国学力・学習状況調査の調査結果をお知らせします

本年度4月に3年生を対象に全国学力・学習状況調査を行いました。その調査結果が9月に文部科学省から出されました。その結果から見える本校の生徒の状況についてお知らせします。今年度の調査は理科が加えられ、国語、数学、理科の3教科です。

### <学力1>国語の学力

- A、Bともに全国、静岡県平均を上回っており、大変良好で、知識の定着及び活用力とも非常に高い。
- 無解答率が非常に低い。自分なりの考えをもち、表現しようとする姿勢が身に付いている。
- 特に「話すこと・聞くこと」の領域は十分力を持っている。
- 「書くこと」の領域は、他の領域に比べると正答率が低い。また、あまり日常生活で使われていない語句の理解ができていない。目的に沿った作文や読解の中での語彙の意味の類推を授業の中で取り入れていきたい。

### <学力2>数学の学力

- A、Bともに全国、静岡県平均を大きく上回っており、大変良好である。
- 基本的な知識を問う問題や計算の問題はおおむね正答率が高く、学習が定着しているといえる。
- B問題において、数学的な考え方は全国平均に対しての正答率が高く、数学的な知識を身のまわりの事象に活用できる生徒が多いと言える。
- 読み取り問題や説明を問われる問題などは、あいまいなことばでの説明が多いため、正答率が下がる傾向にある。級友への説明を授業の中に積極的に取り入れ、改善を図りたい。

### <学力1>理科の学力

- A、Bともに全国、静岡県平均を上回り、大変良好で、「知識」「活用」のどちらの力も高く、学習内容が定着している。特に「科学的な思考・表現」の力が高い。
- 上位、下位の差が少なく、4分の3の生徒は、全国、県の平均以上の学力を身につけている。
- 特に物理、化学の領域は、十分力を持っている。
- 計算問題がやや苦手な傾向があるので、公式を覚えるだけでなく、数値の意味や原理を考える学習を進めたい。
- 自分の考えを説明する問題に課題が残る。筋道立てて、考える習慣をつけさせたい。

## 全国学力量習状況調査からみた 清水南高中等部の生徒とは… 全国と比べて… ○よい ●課題



### <学習面の習慣>

- 学校の宿題をする、予習復習をする、計画的に学習をするといった、家庭学習の習慣は、多くの生徒が身に付けている。また、学習塾へ通っている生徒が、全国、県に比べ少なく、自ら学習することができている。これらが、基礎学力の定着につながっている。
- 平日2時間以上勉強する生徒が全国平均を大きく下回っている。主な原因は遠方から通っている生徒が多いことや、中高一貫校で受験がないため、長時間勉強をすることがあまりないなどが考えられる。学力向上に向けて、家庭学習の時間を多くすることが今後の課題である。

### <日常生活>

- 「自分にはよいところがあると思う」と答えた生徒の割合が3年連続で全国平均よりも上回った。また、将来の夢を持っている生徒の割合も高く、自己を見つめ、自己肯定感の向上が見られる。
- 家の人と学校での出来事について話をしている生徒の割合が全国平均より多く、生徒と家庭の関係が良好であるといえる。
- 「住んでいる地域の行事に参加する」など地域に関わる設問には全国平均を下回る結果が現れている。学区のない学校として、地域との関わりが課題である。

### <学校生活>

- 授業の中で、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んだり、生徒間の話し合いで自分の考えを広めたりできていると考えている生徒の割合が、全国、県平均を大きく上回っている。これらの結果は、日々の授業を大切に、充実した取り組みができていることを示していると思われる。
- 「学校の規則を守っているか」という問いに対しては、平均を下回る結果となっている。生徒の自主性に任せ、指導が多いため、判断が甘くなる傾向にあるのではないだろうか。



教科の調査結果より全国と静岡県との比較

1. 教科の調査結果より

国語	話すこと・聞くこと		書くこと		読むこと		言語に関すること		全体	
	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)	A(知識)	B(活用)
全国	75.2	76.6	73.9	31.3	76.7	53.5	76.5	49.2	76.1	61.2
静岡県	77.2	78.0	76.3	32.1	77.9	55.3	77.8	51.9	78.0	63.0
本校	91.5	87.1	86.6	40.8	89.9	68.1	86.6	57.0	87.0	74.0

数学	数と式		図形		関数		資料の活用		全体	
	A(知識)	B(活用)								
全国	71.1	51.4	69.1	46.7	55.5	52.8	63.5	38.0	66.1	46.9
静岡県	72.3	53.5	71.5	49.3	56.7	53.6	65.9	41.1	68.0	49.0
本校	86.6	74.1	86.1	74.6	75.5	69.3	81.6	64.0	83.0	70.0

理科	物理的分野	化学的分野	生物的分野	地学的分野	全体
全国	74.4	65.0	72.5	57.8	66.1
静岡県	75.7	67.1	73.4	59.3	68.0
本校	87.2	77.0	86.4	70.7	79.0

2. 生活質問紙結果より

	全国	静岡県	本校
「自分には、よいところがあると思いますか」に対し「当てはまる」の割合	33.7	36.8	○43.9
「将来の夢や目標を持っていますか」に対し「当てはまる」の割合	45.3	44.9	○50.0
「家の人と学校での出来事について話をしますか」に対し「よく話す」の割合	44.7	46.2	○55.3
「家で学校の宿題をしていますか」に対し「当てはまる」の割合	68.5	75.5	○86.0
「生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか」に対し「当てはまる」の割合	32.4	35.2	○49.1
「授業では、課題解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいたと思いますか」に対し「当てはまる」の割合	26.3	26.4	○36.8
「学校の規則を守っていますか」に対し「守っている」の割合	63.4	63.3	●57.0

